



武市半平太銅像再建—6月7日(予定)に生まれ変わります

久遠のふゆと

銅像再建

市長 谷 嘉亀

四月二十一日、武市半平太先生の銅像の再建起工式が挙行された。瑞山先生の銅像は、昭和五十四年十二月、横浪半島の一角に建立せられ、以来六年有半、渺茫たる太平洋をへいげいし、風雪に堪えながら、土佐の、そして日本の悠久の発展を信じ、かつ、見守ってきていただいた。

しかし、誠に失礼なことに建立以来、先生に以ていないとか、土佐勤王党

首領としてのイメージが違いすぎるなどと批判の声が高く、ついに改築することとなり、昨年、「改築期成会」が発足し、準備を進めてきたものである。改築に当たり、出身地の高知市へ連れ帰るといふ強い意見があったが、「ここがよくて須崎市民になつちゅうものを今更連れ帰るな」といふ願望が認められ、現地再建となったことを感謝している。

銅像の大きさは三メートルと、現在より小さいが、スマートでハンサムになるといふ。建設費の約二十万円は寄付金によることとし、現在募金中である。本市においても多くの篤志家のご協力を頂き大分集まっているが、まだ目標額には距離がある。折角、踏みとどまって頂いたご好意に答えるためにも、多少にかかわらず、一人でも多くのご芳志を頂戴したいと願う次第。

横浪観光の一翼を担い、再登場する除幕式は六月七日の予定。

広報 **すさき** 5 月号 No. 371

昭和61年5月1日/発行所：須崎市役所/編集責任者：企画課長/印刷：中央印刷(株)

(1) 3月31日の人口31,439人(男15,408人・女16,031人) 世帯数10,239世帯